

近江ちいろば会 ケアハウスピスガこうせい きらきら ピスガ



2026年3月号

「いま、何をしようとしているか」が人生を輝かせる

日ごとに春の気配を感じる季節となりました。ピスガこうせいでは「ポッチャをしたい！」その一言から始まった青春真っ盛りの2月を送りました。



きっかけは、昨年秋に地域のポッチャ大会に出場された3名の入居者様でした。「ピスガこうせいでも、もっとポッチャをしたい!」「来年は優勝を目指したい!」その熱い想いは、単なる願い事では終わりませんでした。その3名の入居者様はすぐに動き出されました。共同代表を立て、庶務を決め、本格的な企画書を作成。さらには他の入居者の皆様へ向けた参加者募集のポスターまでパソコンで手作りされ、活動は本格的に始動しました。(この全てに職員が携わっていないことは特筆しておかなければなりません!)



2月初旬に行われた「キックオフ(サークルの旗揚げ式)」には、その熱意に応えるように多くの入居者様が集まり、会場は笑顔と歓声に包まれました。1時間の活動時間でしたが、あっという間で皆様いい汗をかきながら楽しまれていました。



「やりたい」と思ったときに、力を貸し合える仲間がいること。その想いに賛同し、一緒に楽しんでくれる仲間がいること。そして、新しいことに誰かと共にチャレンジできる心強さ。そんな温かさど活気に満ちたピスガこうせいという場所の素晴らしさを、改めて皆様に教えていただきました。

パナソニックの創業者、松下幸之助さんは、生涯挑戦し続けた人生の中で「年齢は単なる数字にすぎない。大切なのは、いま何をしようとしているかだ。」という言葉を残されています。

「今、自分が何をしようとしているか」によって、人生が「老後」になるのか、それとも「青春」になるのかが決まるのかもしれませんが。ポッチャサークルの立ち上げをはじめ、日々の新しい出会い(人とも出来事とも)を楽しみ、お互いの背中を押し合いながら新たな挑戦に踏み出す皆様の姿は、まさに「青春」そのものです。



人生を生き活きと輝かせるのは、自分自身の志次第であること。私たちは、入居者の皆様のキラキラとした背中から、日々多くの大切なことを学ばせていただいています。新しい何かが生まれる喜び、新しいことにチャレンジする一瞬の輝き、支えたたえ合う仲間同士の絆のすばらしさ…いつもそばで共に体験・体感させていただける喜びと幸せをスタッフ一同心から実感しています。



皆様、いつも本当にありがとうございます。これからも、皆様の「やりたい!」を全力で応援し、成功しても失敗しても共に励まし合い、喜び合い、感化され合って過ごし続けていきたいと願います。どうぞ、よろしく願いいたします!

